

## 平成27年度 第2回市長タウンミーティング概要

と き：平成27年4月18日(土)  
午後7時～午後8時30分  
ところ：東公民館  
参加者：118人

### ○市長あいさつ

(市長より、平成27年度の施策・予算についての説明が行われました。)

### ○意見交換

#### 質問(女性)

重度の自閉症・知的障害のある息子と暮らしていますが、将来のことを考えると不安です。市内に入所施設を作っていただきたいと思います。

#### 回答(市長)

たいへんご苦勞されていると、身につまされる思いです。入所施設に関しては、県内の障害保健福祉圏域で蕨市が属する南部圏域において、近年、川口市に入所施設、戸田市にショートステイの施設ができましたが、更なる必要性を感じています。そうしたことを踏まえ、今年3月に策定した蕨市障害者計画・第4期蕨市障害福祉計画において、南部圏域での広域的対応を基本として、施設確保の検討・協議を行っていくと示しています。しかし、施設の整備には、用地の確保や事業者の誘致、建設費などの課題があるとともに、建設費等の補助金を交付する国の方針として、入所施設でなく住み慣れた地域で暮らせるグループホームを推奨しているという事実もあります。このように困難な課題がさまざまありますが、皆さんの声を真摯に受け止め、他自治体とも連携しながら、努力をしていきたいと考えています。

#### 質問(女性)

検診を受診する際などに保健センターを利用しています。塚越地区にも保健センターを作っていただきたいと思います。

#### 回答(市長)

塚越から保健センター(北町2丁目)へ行くのはご不便もあるとは思いますが、蕨の規模で保健センターを2か所というのは、財政的・運営的に難しい状況です。そうしたなか、今回、胃がん検診を個別化としたように、近隣の病院で検

診が受けられるような仕組み作りを通じて、ご不便さを補完していきたいと考えていますので、ご理解をよろしく願いいたします。

### 質問（女性）

昨年、お願いさせていただいた非婚のひとり親家庭への保育料等の軽減に対する施策を27年度から実施していただけると聞きました。速やかな対応ありがとうございます。

今回お話しさせていただくのは、市内の生活道路に段差ができていたり、つなぎ目が割れていたりする箇所が見受けられる件についてです。既に市でも調査をしていただいているとは思いますが、改善をご検討いただけないか重ねてのお願いです。

また、緑川沿いに不法投棄をする人がいます。川のフェンスに注意喚起のパネルが貼られています。もっとパネルの数を増やしていただけないでしょうか。そのほか、くると高層マンションの間の道路は、天候によっては、ビル風が強く危険です。歩行者へ注意喚起を促す表示などを検討していただけないでしょうか。

### 回答（市長）

まず、非婚のひとり親家庭への保育料等の軽減に対する施策についてご説明させていただきます。税法上、離婚・死別等のひとり親家庭の方には、市・県民税、所得税の寡婦(夫)控除が適用されますので、税額を基に算定される保育料などは軽減につながる場合があります。一方、非婚のひとり親家庭の方は、この控除が適用されませんので、生活実態が同じでも、保育料などに差が生じてしまいます。こうしたことは本来ならば、国が是正していかなければいけないのですが、不公平感がある現状を解消するため、市では今年度から独自で、非婚のひとり親家庭に対して、寡婦(夫)控除のみなし適用を行い、保育料等に反映させる措置を導入しました。

続いて、生活道路についてですが、具体的な箇所を担当に調査させ、危険性を伴う場合は緊急に対応をしていきたいと考えています。また、昨年、専門業者による路面性状調査を行い、その結果を基に計画的な改修を行っていきますので、ご理解をお願いいたします。次に緑川に関してですが、緑川は埼玉県の管理となっているため、ご意見は市担当者を通じて、県担当者へお伝えさせていただきます。また、ビル風の注意喚起の件については表示が適切かどうかを含め、検討していきたいと思っております。

### 質問（女性）

一中脇陸橋(塚越側)の階段と階段の踊り場のコンクリートがはがれてしまっています。雨が降ると水溜まりができてしまうので、改善をお願いします。

### 回答（市長）

このような老朽化した社会インフラは全国的な課題であり、点検・修繕は市としてもしっかりと対応していこうと考えています。現場については担当に確認させ、応急措置が可能ならば対応していきます。

(道路公園課より 現地を確認し、対応をしていきたいと考えています)

### 質問（男性）

コミュニティバスぷらっとわらびについてです。現在、戸田市内の病院に通院していますが、蕨と戸田のコミュニティバスがうまく連携し、乗り継ぐことができれば病院の近くまで行くことができ便利です。また、逆回りのルートもあれば、近くの場所でも大回りすることがないと思います。ぜひ、バスの充実をお願いします。

### 回答（市長）

市民の皆さんによくご利用いただいている、ぷらっとわらびの乗り継ぎとルートの改善については、さまざまなご意見をいただいています。戸田市のコミュニティバスとの乗り継ぎに関しては、既に蕨市と戸田市がそれぞれ独自に長い期間、バスの運営をしているので、なかなか難しい面があります。また、逆回りのルートについては、市内は一方通行の道路が多く、また、新しいバス停をつくる上で近隣住民のかたのご理解をいただくのに時間がかかるといったこともあり、速やかな対応はできないかもしれません。しかし、こうした皆さんの貴重なご意見を基に、更に研究を重ねていきたいと思っています。

### 質問（女性）

塚越にある人道橋の階段手前のコンクリートにひびが入り、段差になっています。対応をお願いいたします。

### 回答（市長）

先ほどの女性のかたのご質問と同様に、担当者に現場を確認させ、どういう対応ができるかを考えていきます。なお、危険性を伴う場合は、緊急に対応をしていきたいと考えています。

(道路公園課より 現地を確認し、対応をしていきたいと考えています)

### 質問（男性）

限られた予算のなかで、さまざまな施策に取り組みながらも、借金削減を計画的に行っていることは素晴らしいと思います。そうしたうえで、ずっと蕨に住み続けたいと思う一市民として、今後、どのように市政を進めていくのか、方向性を知りたいと思います。

### 回答（市長）

私が市長就任以来、一貫してきたのは、防災や子育て、介護などの施策に重点的に取り組みながらも財政健全化を進め、その両立を図るということです。こうした取り組みにより、着実に借金も減り、蕨の財政健全化に関する指標は健全な数字となっています。また、現在、人口減少という課題に直面しているわが国ですが、幸い、蕨は昨年と比べて人口が若干増えています。こうしたことを踏まえ、昨年度からスタートした将来ビジョンでは、利便性が高く、歴史・文化、コミュニティの豊かさを併せ持つ蕨の強みを生かして、更に住みやすいまちにしていこうと計画を推進しています。今後も市民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めながら、全国に誇れる日本一のコンパクトシティ蕨を目指していきます。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。